

Benjamin Alard Organ Recital

バンジャマン・アラール オルガン・リサイタル

2024
6/30日

19:00開演(18:30開場)
水戸芸術館エントランスホール

料金
(全席指定)

A席¥4,000、B席¥3,500、
U-25(25歳以下) ¥1,500
※U-25の取り扱いの水戸芸術館のみ

チケット発売
3月23日(土)

先行予約

財団運営維持会員:3月19日(火)※電話・WEB予約のみ

水戸芸術館メンバーズ:3月20日(水・祝)※電話・WEB予約のみ

※会員先行予約がありますので、一般発売日の時点で水戸芸術館取り扱い分が終了している場合があります。

■演奏曲(予定)

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach

トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

フーガ ト長調 BWV577

シュープラー・コラル集 BWV645-650

第1曲「目覚めよと、われらに呼ばれる物見らの声」

第3曲「ただ尊き御神のままに」/第2曲「われいずこに逃れ行かん」

第5曲「われらとともに留まりたまえ」

第6曲「主を褒めまつれ」/第4曲「わが魂は主をあがめ」

マニフィカト「わが魂は主をあがめ」にもとづくフーガ
BWV733

協奏曲 イ短調 BWV593

([原曲]ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲 イ短調 RV522)

トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV564

フーガ ト短調 BWV578

トリオ・ソナタ第3番 ニ短調 BWV527

トッカータ(前奏曲)とフーガ ヘ長調 BWV540

Benjamin Alard Organ Recital

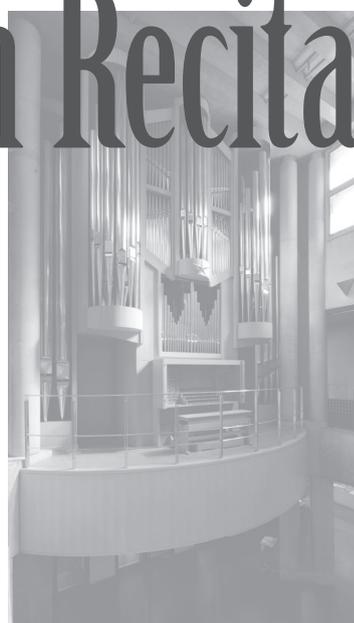
バンジャマン・アラール オルガン・リサイタル

水戸芸術館で8年ぶりとなる「オール・バッハ・プログラム」によるオルガン・リサイタルを、フランスの鍵盤楽器の名手、バンジャマン・アラールを迎えてお贈りします。

モネの描いた大聖堂で有名なルーアン出身のアラールが、幼い頃、強烈に惹かれたというのが、街にあった18世紀製のオルガン。いざオルガンを学び始めると、必然的に興味はJ.S.バッハの音楽へ。すぐに頭角をあらわしたアラールは、数々の国際古楽コンクールで優勝し、レオンハルトやクイケンら古楽の先駆者たちからも薫陶を受け、ソリストや通奏低音奏者として世界各地で活躍を始めます。近年は「バッハに影響を与えた周辺の作曲家を含め、丹念にバッハの成長を追いたい」という探究心のもと、J.S.バッハの鍵盤作品を全曲録音するという壮大なプロジェクトに挑んでいます。作曲当時の時代状況をふまえ、欧州各地のオルガンやチェンバロ、クラヴィコードの中から最適な楽器を選択して鮮やかに弾き分けるさまは、まさに若き巨匠という言葉がぴったりです。

アラールのバッハ演奏の魅力は、オーセンティックであることと自由であることが絶妙なバランスで共存していること。昨今は、奔放で現代的な装飾を施した演奏なども聴かれる中、アラールは派手な演奏効果を狙うことを良しとしません。とはいえ術学的になることも慎重に避けながら、バッハの音楽が持つ精妙な構築美や生き生きとした躍動感を、抜群のセンスで今日に蘇らせてくれるのです。今回のプログラムでは、バッハが残した約250ものオルガン曲の中から、ドイツの先人たちの音楽を貪欲に学んだ才気迸る青年時代の作品、イタリアやフランス音楽など幅広いスタイルを研究してオルガン曲として昇華させた、編曲の大家ぶりが感じられる作品、そして教会カンタータをオルガン・コラールとして創作した勤勉さと敬虔さが滲む作品など、青年期から円熟期にかけての作曲家の多面性が自ずと伝わってくる曲目が選ばれました。

バッハの世界への耳があらためて開かれるようなひととき。バンジャマン・アラールという若き挑戦者の演奏で、ぜひ一緒に楽しんでみませんか。



PROFILE



photo©Bernard Martinez

バンジャマン・アラール [オルガン]

Benjamin Alard, Organ

フランスのノルマンディー地方に生まれる。7歳でピアノを始め、ルーアン地方音楽院でレイ・ティリーとフランソワ・メニシエにオルガンを師事。パリではエリザベート・ジョワイエからチェンバロを学び、2003年にパーゼルへ渡りスコラ・カントルムでイェルク＝アンドレアス・ベツティヒャー、ジャン＝クロード・ツェンダー、アンドレア・マルコンに師事。2004年、古楽の最高峰と言われるブルージュ国際古楽コンクール第1位および聴衆賞を獲得。さらに2007年ゴットフリート・ジルバーマン国際オルガン・コンクール第1位およびヒルデブランド特別賞を受賞。

鍵盤の名手として注目を集め、フランス内外でチェンバロおよびオルガン・リサイタルを行うほか、室内楽の演奏活動も行っている。2021年エマニュエル・パユ（フルート）と来日、デュオ・リサイタルを行い、2022年には浜離宮朝日ホールでチェンバロ・リサイタルを行い極めて高い評価を獲得した。

ラ・フォル・ジュルネ、モンベリエ音楽祭、バッハ音楽祭をはじめとする著名音楽祭に出演するほか、シグスヴァルト・クイケンが創設したラ・ブティット・バンドの通奏低音奏者としても活躍。また、2005年よりバリのサン＝レイ＝アン＝リル教会の正オルガニストを務めている。現在、J.S.バッハ鍵盤作品全集の録音に取り組んでおり、これまでに第8集までがハルモニア・ムンディよりリリースされている。

チケットの取り扱い

●水戸芸術館 (営業時間9:30~18:00、月曜休館)

◎エントランスホール内チケットカウンター

◎チケット予約センター Tel.029-231-8000

◎ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

●e+ (イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯)

●かわまた楽器店 Tel.029-226-0351

●ヤマハミュージックリテイリング水戸店 Tel.029-244-6661 (店頭販売のみ)

◆U-25チケットについて (枚数限定)

◎25歳以下の方が対象のお得なチケットです。(未就学児不可) ◎ご購入いただいたご本人様のみご利用いただけます。

◎当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。◎取り扱いは水戸芸術館のみとなります。

お問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター 〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8

Tel.029-231-8000 営業時間9:30~18:00 (月曜休館) <https://www.arttowermito.or.jp/>

◎車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、お座席へのスムーズなご案内のため、予約時にお知らせください。

◎未就学児はご入場いただけません。◎公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等はお受けできません。◎公演の内容や出演者は、変更になる場合があります。

